

相場操縦関係

■ 当社における取引審査

① 売買関与率審査 : 一定基準により日々を抽出 → 取引審査を行なう

・加えて、以下の複合的な取引審査を行なっている

- | | |
|---------------------|------------------------------------|
| a. 関与率が継続した銘柄 | b. 価格が急騰若しくは急落した銘柄 |
| c. 当社の買付件数が集中している銘柄 | d. ファイナンス銘柄・継続監視銘柄等 |
| e. ブロック取引の審査 | f. DMA (Direct Market Access)取引の審査 |
- など

・理事会決議施行後は、複合的観点と合わせ、更に詳細な取引管理体制となる

② 終値関与審査 : 一定基準により取引を抽出 → 取引内容審査を行なう

③ 市場での対当売買審査 : 日々取引審査を行なう

④ 見せ玉審査 : 一定基準により発注取消を抽出 → 発注内容を審査

⑤ 規制機関等から疑わしいとの情報を受けた銘柄の審査

*エクイティ取引管理は、33名の体制

■ 不公正取引につながるおそれがある場合

管理部門担当者から顧客担当部店の責任者に対して是正措置要請

→ その後の顧客の取引状況を管理部門はフォローアップ

内部者取引管理関係①

■ 当社における内部者登録の管理

① 内部者登録メンテナンス上の問題点

a. 顧客の人事異動などによる属性の変化 (eg.部長から役員への昇格)

b. 顧客の内部者登録に対する意識の低さ

→ 本人からの正確な申告による把握が困難

② 定期点検

a. 営業店向けの内部者登録口座一斉点検

b. 前月登録口座点検

c. 外部情報ベンダーのデータと非内部者登録口座のマッチング などを実施

③ 直近の状況

- a. 昨年 12 月のデータとのマッチング → マッチングしたデータを確認
→ 新規内部者登録を行なう
- b. マッチングで判明した役員の中には、遅れて売買報告書を提出した事例もあり

*証券会社側の努力だけでは、データメンテナンスに困難が多い

内部者取引管理関係②

■ 内部者登録口座：メンテナンス上の問題点

- ① 当事者の意識が希薄なため、漏れが生じる
- ② 外部データによる補足によってもタイムラグが生じる
- ③ 各社がデータを買うなどの高いコスト

→ それでも、証券会社がその責を負う

■ ご提案

内部者取引未然防止の目的で、取引所が、上場会社各社に対し、内部者登録を必要とする対象者のデータの提出を義務づける

↓

取引所で内部者データベースを構築

↓

これを証券会社に定期的に提供する方法は検討できないか？

法人関係情報の管理

■ 法人関係情報の管理と利用

法人関係情報は、システムにより登録され、管理部門にて管理している。

- ① 内部者登録顧客を対象とする取引管理：大口のブロック取引 → 管理部門に事前承認
- ② ファイナンス銘柄審査：1、当該法人関係情報が社内でどのように管理されたか検証
2、他に問題となる情報がないか検証
- ③ イン組織の社員：社員投資管理
- ④ アナリストレポート：発行前に掲載銘柄 → 必ず管理部門によるチェック
法人関係情報との付け合わせ

■ 情報伝達

ファイナンス案件進行 : 進捗状況を法人関係情報管理システムに登録
イン組織からアウト組織への情報伝達は伝達承認システムで管理

以上